

アイヌ文化情報発信体験拡散プロモート事業業務委託について

1. 業務名

アイヌ文化情報発信体験拡散プロモート事業業務委託

2. 事業目的

本事業は、アイヌ高齢者等から伝承された芸術文化を日本各地で披露することで、アイヌ文化の振興を目指すとともに、阿寒湖温泉地区のアイヌコタンやアイヌシアターイコロなどへの観光プロモーションを行い、アイヌ文化資源が数多くある阿寒湖温泉地区への来訪者を増やすことを目的とする。

3. 履行期間

契約締結日から2025年（令和7年）3月14日まで

4. 業務場所

阿寒湖温泉地区、東京都（23区内）、石川県（金沢市）

5. 企画提案上限額

15,579,970円（消費税及び地方消費税の額を含む。）

6. 業務内容について

業務の概要は、下記のとおりとする。

＜業務の概要＞

（1）阿寒湖アイヌ伝統文化の披露について

- ① 東京都、石川県の各会場において1日実施するものとする。
- ② 披露する踊りや歌などについては、阿寒湖温泉地区のアイヌ文化の認知度及び関心度を高め、阿寒湖温泉地区への誘客増につながるように、来場者にアイヌ文化の魅力を印象づける情報発信を行い、来場者のアイヌ文化に対する理解が深まるように工夫すること。
- ③ 会場の確保や出演者等とのスケジュール調整、実施当日の会場運営・管理については、受託者において行うこと。また、事業の実施に必要な物品等については、受託者において用意すること。
- ④ 会場については、地方公共団体、独立行政法人又は民間が設置する文化会館

（劇場、市民会館、文化センター等）で、音楽、演劇、舞踊等の主として舞台芸術のためのホールを有するものとし、音響照明、舞台装飾についても、アイヌ文化の披露にふさわしいものに配慮すること。

- ⑤ 出演者（阿寒湖アイヌ関係者）については１６名程度とし、一定の練習期間を確保すること。また、出演者には、アイヌ文化の価値を考慮し、事前の練習期間を含めた出演費用を支払うこと。
- ⑥ 来場者は無料で実施会場に入場できるものとし、広報を行うなど来場者の増加に向けた工夫を行うこと。また、来場しやすい工夫を行うこと。

（２）伝統文化の普及等に関する意見交換について

- ① 訪問先のうち金沢市において、それぞれ伝統文化保存活動団体と意見交換を行う場を設けること。
- ② 意見交換の内容については、受託者が阿寒アイヌ民族文化保存会と協議の上決定し、当日の進行等は受託者において行うこと。

（３）旅行会社への阿寒湖アイヌ文化プロモーションについて

- ① 訪問先それぞれの場所において、１社以上の旅行会社への阿寒湖アイヌ文化のプロモーションを行うこと。
- ② プロモーションに際しては、阿寒アイヌ民族文化保存会のメンバー１０名程度のほか、ＮＰＯ法人阿寒観光協会まちづくり推進機構等の地元旅行関係者も同行すること。
- ③ 効果的なプロモーションとなるよう、受託者においてパンフレットや動画などの宣伝素材を用意すること。

（４）その他

- ① 実施時期は阿寒アイヌ民族文化保存会と協議の上決定し、東京都・金沢市（４泊５日）とすること。

７．成果品の納品

２０２５年（令和７年）３月１４日までに以下の成果品を納品し、本市の検査を受けること。なお、履行期間終了前であっても、市からの要請に応じて、随時完成したデータをCD-ROM 又はDVD-ROM に収め納品し、本市の検査を受けること。

（１）阿寒湖アイヌ伝統文化の披露について

- ① 実績報告書（Ａ４判） 紙媒体２部及び電子媒体（CD-ROM 又はDVD-ROM）
- ② 制作したものがある場合、制作物及びそのデータを収めたCD-ROM 又はDVD-ROM ２部

（２）伝統文化の普及等に関する意見交換について

- ① 実績報告書（Ａ４判） 紙媒体２部及び電子媒体（CD-ROM 又はDVD-ROM）

- ② 制作したものがある場合、制作物及びそのデータを収めた CD-ROM 又は DVD-ROM 2 部
- (3) 旅行会社への阿寒湖アイヌ文化プロモーションについて
 - ① 実績報告書 (A 4 判) 紙媒体 2 部及び電子媒体 (CD-ROM 又は DVD-ROM)
 - ② 制作したものがある場合、制作物及びそのデータを収めた CD-ROM 又は DVD-ROM 2 部

8. 成果品納入場所

釧路市阿寒町行政センター阿寒湖アイヌ施策推進室

9. 留意事項

- (1) 受託者は随時、業務の進捗状況について本市に報告すること。
- (2) 制作物の制作等にあって取材先との交渉が必要な場合については、本市と別途協議することとする。
- (3) 本件業務にあたり、必要な著作権等の権利関係は、受注者において処理するものとする。
- (4) 受託者は、業務委託の成果品に対し、著作権法（昭和45年法律第48号）第21条（複製権）、第23条（公衆送信権等）、第26条の2（譲渡権）、第26条の3（貸与権）、第27条（翻訳権、翻案権等）及び第28条（二次的著作物の利用に関する現著作者の権利）に規定する権利を、成果品の納入、検査合格後、直ちに委託者に無償で譲渡するものとする。
- (5) 受託者は、著作権法第20条（同一性保持権）第2項に該当しない場合においても、その使用のために目的物の改変を行うことができるものとし、受託者はこれに同意し、著作者人格権を主張しないものとする。
- (6) 受託者は、成果品が第三者の著作権を侵害しないことを保証し、第三者から成果品に関して著作権侵害を主張された場合の一切の責任は、受託者が負うものとする。
- (7) 本件業務に係る必要な滞在経費、取材経費、物品等については、受託者が用意すること。
- (8) 受託者は、契約期間中及び契約期間後において、本件業務上知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。
- (9) 業務履行にあたり疑義が生じた場合や、明示のない事項については、双方協議の上決定することとする。
- (10) (9)に関わらず、明示のない事項にあっても、社会通念上当然必要と思われるものについては本業務に含まれるものとする。
- (11) 実際の事業実施にあたっては、企画提案内容をもとに、阿寒湖温泉地区のアイ

又関係者や釧路市と協議の上で、具体的な実施内容を決定するものとする。